



研修内容の紹介

～PTデータの概要等を含む～

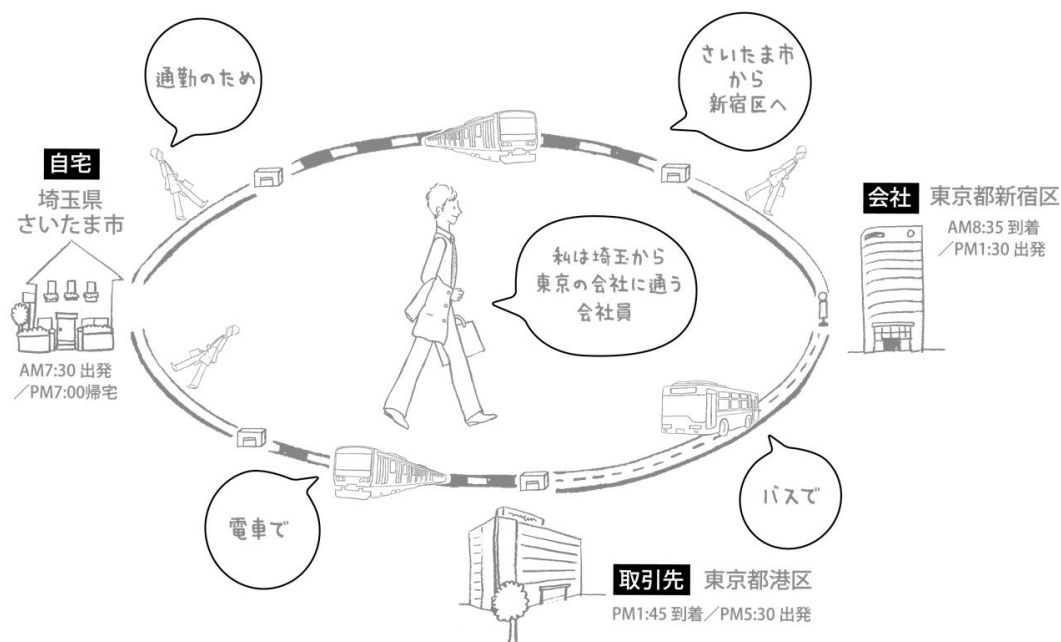
-
- ①パーソントリップ(PT)調査とは？
 - ②第6回(H30)東京都市圏パーソントリップ調査の概要
 - ③データの提供
 - ④本日の研修ねらいとプログラム
-



①パーソントリップ(PT)調査とは？

パーソントリップ調査とは？

- パーソントリップ調査は、「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかなどを調べる「人の移動調査」です。
- そこからは、鉄道や自動車、徒歩といった各交通手段の利用割合や交通量などを求めることができます。



誰が
(属性)

何のために
(目的)

どこからどこへ
(場所)

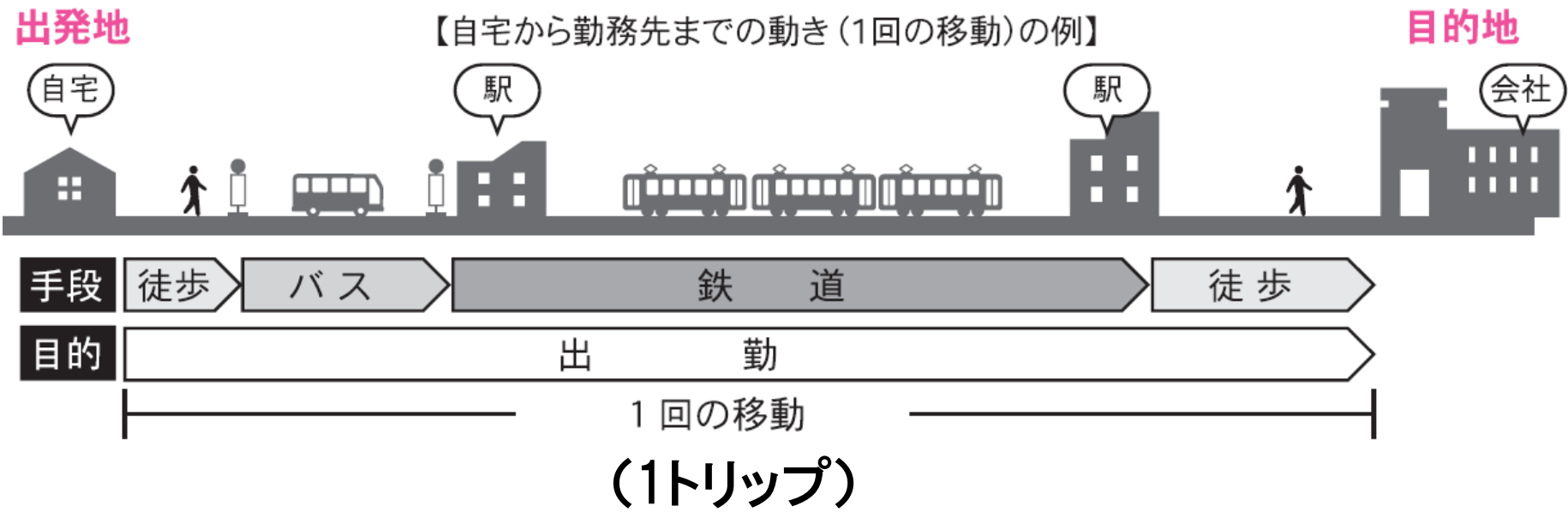
何時ごろ
(時間)

何を使って
(交通手段)

移動しているのか？

トリップの考え方

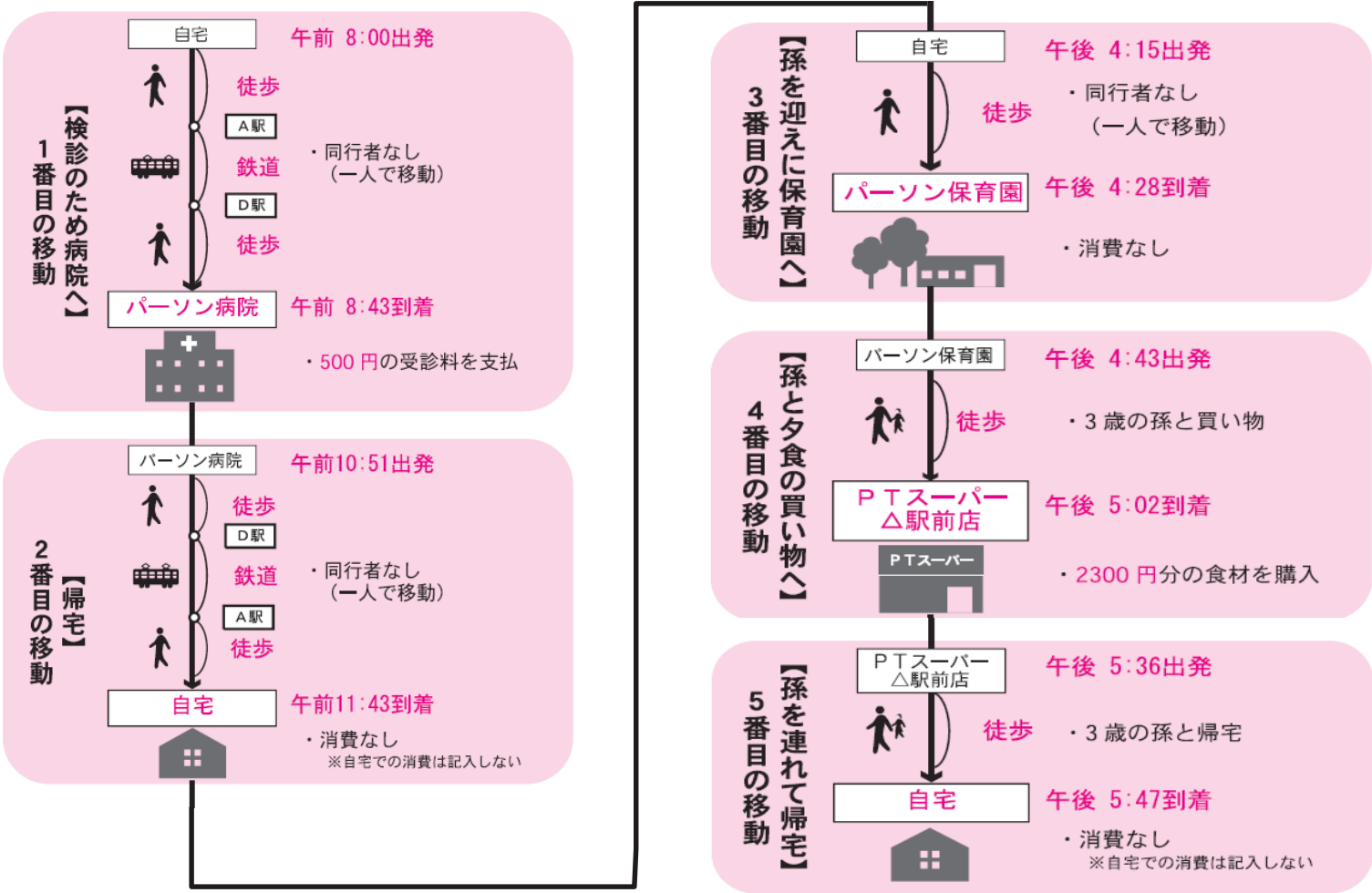
- 同一の目的で出発地から目的地(勤務先や通院先等)へ到着するまでの動き
=1トリップ
- 途中で複数の交通手段を使っても1回の移動(1トリップ)とみなす



(参考)1日の動きの中でのトリップのイメージ

●以下の例では、5トリップとなる(例:午前中に通院、午後に孫の迎えと買物)

<5トリップの例>



②第6回(H30)

東京都市圏パーソントリップ調査の 概要

第6回(H30)東京都市圏パーソントリップ調査の概要

<調査期間>

平成30年9月～11月の平日1日
(火、水、木曜日(祝日の前後を除く))

<調査対象地域>

東京都(島しょ部を除く)、神奈川県、埼玉県、
千葉県全域及び茨城県南部地域

<調査対象者>

住民基本台帳から世帯単位で無作為抽出し、
そのうち5歳以上の方に調査協力を依頼

<調査手法>

郵送配布、WEB・郵送回収

<有効回答数>

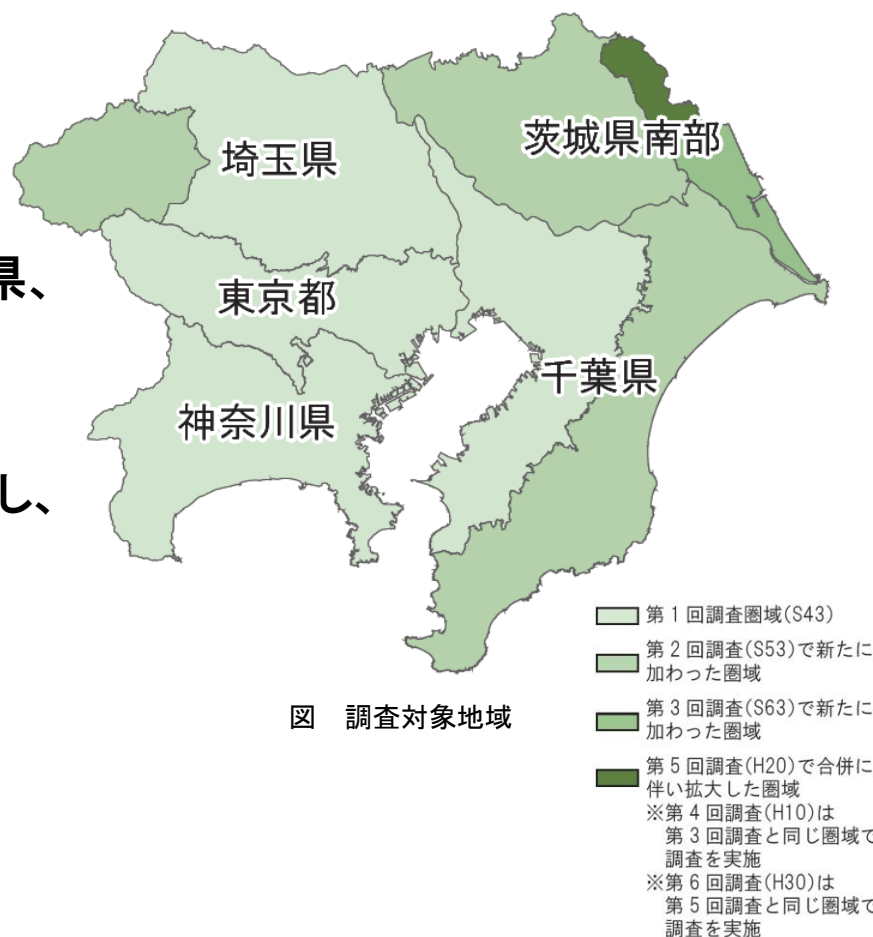
約16万世帯、約31万人

<標本率>

約1.0%

<回収率>

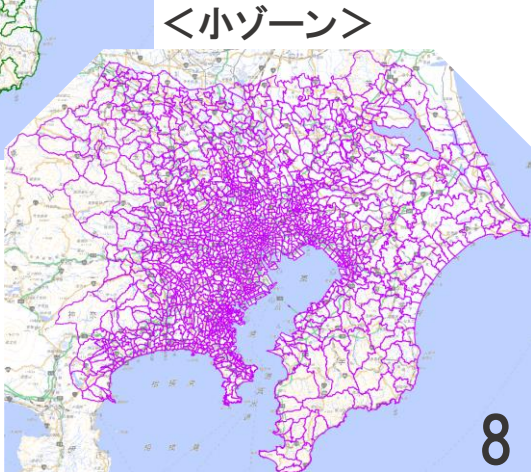
28.1%



(参考)ゾーン区分

● さまざまな大きさのゾーンで集計、分析が行えます

ゾーンレベル	ゾーン数	区分の内容
大ゾーン	54	地理的、歴史的な地域のまとまりを考慮しつつ、東京都市圏全域のマクロ的な分析、検討の単位となるゾーン。
中ゾーン	152	ほぼ市区町村を単位とするが、大都市では数個に分割し、周辺では市町村がいくつかまとまっている場合もある。
計画基本ゾーン	615	小ゾーンを数個集めて構成し、広域における計画単位として、また地域としてのまとまりのある交通計画の単位となるゾーンレベル。
小ゾーン	1660	町丁目単位を基本に夜間人口約15,000 人程度に集約したもので、地区計画の目安となるゾーンレベル。



※小ゾーンを用いる際は、
精度担保されていないことに
留意する必要アリ

主な調査項目

● 主な調査項目は以下の通り。(赤字は、第6回調査で追加した項目)

誰が(属性)

- 現住所
- 性別、年齢
- 世帯構成、続柄
- 世帯年収
- 運転免許、自動車保有の有無
- 外出に関する身体的な困難さ
- 就業状況、職業
- 勤務地
- 勤務時間、在宅勤務の有無 等

何のために(目的)

- 移動目的

どこからどこへ(場所)

- 出発地の施設の種類、住所(号まで把握)
- 到着地(目的地)の施設の種類、住所(号まで把握)

何時ごろ(時間)

- 出発時刻
- 到着時刻

何を使って(交通手段)

- 利用交通手段
- (鉄道利用の場合)乗車駅、降車駅
- (2輪車利用の場合)駐輪場所
- (自動車利用の場合)駐車場所、運転有無、高速道路利用の有無

その他

- 同行人数
- 目的地での消費金額

[illegible]

③データの提供

協議会で提供しているデータ

- 協議会では、以下の3つの方法でデータを提供中



東京PTインフォグラフ

パーソントリップ調査
データをマップやグラフ
を用いて可視化

現状把握 (広域レベル)

他市と比べた時の
わがまちの特徴は？



基礎集計

原単位や発生集中量
など、基礎的なデータ
をエクセル形式でダウ
ンロード可能

現状把握 (都市レベル)

どこから、どこに人が
移動しているのか？
どこに人が集まって
いるのか？



データ集計システム

任意の属性やカテゴ
リー区分でPTデータの
集計を自分で実施す
ることが可能

要因分析 (メカニズムに迫る)

移動・活動を行ってい
るのは、誰で、どのよ
うな目的で実施してい
るのか？

マスターデータを使うことで更なる分析も可能！

基礎集計データの拡充

● 令和5年2月より、メッシュ集計データの公表も開始

■ メッシュ集計データ

集計項目名	単位	カテゴリーの分類等				サイズ
		ゾーン	目的	代表手段	その他	
目的別メッシュ別集中量	トリップエンド	4次メッシュ（約500m）	7区分	-	-	763KB
代表交通手段別メッシュ別集中量	トリップエンド	4次メッシュ（約500m）	-	7区分	-	773KB
居住地ゾーン別メッシュ別集中量	トリップエンド	4次メッシュ（約500m）	-	-	居住地：計画基本ゾーン	2.4MB
性別年齢階層別メッシュ別集中量	トリップエンド	4次メッシュ（約500m）	-	-	性：2区分 年齢：3区分	6.0MB
メッシュ別年齢別目的別原単位	トリップ/人	3次メッシュ（約1km）	-	-	年齢：2区分	3.8MB

※メッシュ集計は、調査結果のジオコーディングデータ（緯度経度データ）を基に行っています。ジオコーディングデータは、番・号等の住所回答結果と地図情報を機械的にマッチングさせて作成しており、マッチングできなかったデータや番・号等の詳細住所が不明のデータに関しては、ジオコーディングデータに含まれていません。そのため、ジオコーディングデータから作成したメッシュ集計値には、一部トリップが含まれておらず、他の基礎集計結果とは一致しない点にご注意ください。

※サンプル数が著しく小さいメッシュについては、集計結果から除いています。

※パーソントリップ調査では、詳細なカテゴリー区分の集計結果に関しては、統計的精度が担保されていない可能性があるため、データの利用には留意してください（詳細は[データ利用の手引き](#)の「4-4 データ利用上の留意点」を参照）。

④本日の研修ねらいとプログラム

本研修のねらい

① PTデータの有効性を知ってもらう

- ・ 明日から今後の都市政策、交通政策のきっかけにPTデータが使いたくなる

② PTデータの見方を知ってもらう

- ・ 各集計項目は、何を意味しているのか
- ・ 数字が意味することを理解すると、わがまちの特徴が見えてくる

③ PTデータの分析方法を知ってもらう

- ・ システムの操作手順を体験し、Excelができれば、十分、PTデータを使えます！！

本研修のプログラム

①東京P T インフォグラフィの操作研修

- ・ 4つ視点（暮らし、地域構造、交通、生活圏）を活用し、可視化を実施

②基礎集計システム、データ集計システムの操作研修

- ・ 集計システムの操作手順の確認、地域別・属性別に分担率や外出率などの集計データを使って、分析を実施

③取組事例の紹介

- ・ 都市計画マスタープランや立地適正化計画での活用を想定した拠点の特性や圏域の把握方法
- ・ 交通計画での活用を想定した移動特性の把握方法
- ・ その他、環境や防災の観点からの活用例を紹介

※終了後、アンケートを実施